

## 日本フンボルト協会 2017 年度第 2 回常務理事会

日時：2017 年 12 月 24 日 14 時-17 時

場所：甲南大学 ネットワーク東京キャンパス

出席者：櫻田嘉章、廣渡清吾、縣公一郎、和田和茂、伏木信次、井田良、  
伊藤 眞（関東甲信越支部長）、梶 英輔、木村 理（東北支部長）、  
西川伸一（関西支部長）、高橋宗五、高橋輝暁、高山佳奈子、鏝田武志、  
関映子（事務局）

### 議題

#### 1. 2018 年度の総会について（高山佳奈子常務理事担当）

2018 年 6 月 2 日に京都大学に於て実施する。実施要領は以下の通り。

- I. 常務理事会・理事会・総会（12:00～14:00）於：法経本館 2 階第 6 教室
- II. ドイツ大使講演会（総領事も出席、14:00～15:00）
  - (1) テーマ „Wozu Botschafter?“  
大使講演の通訳及び翻訳については大使と協議して決定する。
  - (2) 講演後、懇親会までの大使の処遇について、大使との懇談会や京大内施設訪問や銀閣寺訪問など臥考えられるが、大使のご意向を尊重することになる。
- III. 大使を名誉会員に任命する件については、総会の決議が必要なので、まず常務理事会で決定し、理事会の承認を経て総会に提案することになる。承認後に、Urkunde の贈呈式を行う。Urkunde の作成が必要となる。
- IV. コンサート（17:30～18:00）

場所：時計台百周年記念ホール予約済み

演奏者：谷口朋子（ヴァイオリン）＋ピアノ伴奏（依頼済み）
- V. 懇親会（18:00～）

会場：時計台レストラン ラ・トゥール（予約済み）。

前回は参加者は 160 人台で、料理は 100 人分で頼んだ。

財団からの援助は出席者 1 人につき€25（3000 円）なので、参加予定者数の 8 掛けで注文のこと。懇親会会場の収容可能人数は 100 名位である。

会場費が 21,600 円掛かるので全体の費用から逆算して参加費を決めることになる。

#### 2. 留学説明会（鏝田武志常務理事担当）（15:00～17:30）

- どのように行なうか。
- a. 全体説明会（DAAD を含む）
  - b. 分科会（6 分科会 + DAAD）

DAAD が参加する「留学説明会」としたほうが参加者が増える。それで財団に請求することになる。

DAAD 奨学生も後にフンボルトに応募するように勧誘する。玉井さんが来ないので DAAD に関する質問にはできる範囲で答える。

元 DAAD 奨学生に来て貰い、分科会にも出席し、DAAD とフンボルトと合同で行なう。

生命・医学系は一般に参加者が多い。それは宣伝しているから。関西でも宣伝して貰う。

Germanistik が少ない。

分科会は、理学系、工学系、生命科学系、医学系、人文科学、社会科学 + DAAD

### 3. 日本研究奨学金

広渡常務理事及び縣副理事長から、説明があり、第 1 期と同じやり方についての財団の協力が得られないことになったので、第 2 期の奨学金事業は再検討が必要となった。その後様々な意見が出されたが、結論に至らず、引き続き次回の常務理事会に諮ることとなった。

### 4. 支部活動

詳細は別紙参照。中四国からは返事なし。

支部での留学説明会にも、日本フンボルト協会が要請しているという形で支援を頼めるかが議論された。

留学説明会には関さん及び鏑田さんの秘書さんにも大きな負担が掛かっている。

北海道については関さんが手伝っている。独力で説明会を開くことができるか疑問が呈された。

### 5. 会計（高橋輝暁常務理事担当）

新しい予算・決算に「フンボルト財団支援金」と「懇親会会費」という二項目を追加。

すべてのお金の動きを表に出し透明性を確保する。今年度から来年度への過渡期に当たり、A 案と B 案という形で予算案を作成し、次回総会で今後予算決算の書式がどう変わるかを示して、新しい書式へ変更する。

### 6. 次回常務理事会

次回常務理事会は 4 月 7 日 14:00~17:00

Video 会議とする。それぞれの集合場所は未定。

### 7. その他

駐日ドイツ大使を名誉会員にすることを決定。

(以上)